

2014年8月8日(金)

## 協和エクシオ、栃木県日光市から 当社のスマートフォン向けアプリ『EXTravel』を活用した 観光および防災情報の提供が可能なアプリ開発業務を受注

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、情報通信インフラの構築をはじめとするエンジニアリングソリューション事業に加え、付加価値の高い IT ソリューションを開発、提供するシステムソリューション事業を展開していますが、このたび、栃木県日光市から当社のスマートフォン向け観光防災総合アプリ『EXTravel（エクストラベル）』を活用した、観光および防災情報を提供するアプリ開発業務を受注しましたのでお知らせいたします。

今回日光市から受注したのは、主に同市を訪れる観光客に向けて、観光スポットなどを紹介する観光情報と地震災害発生時の防災情報を1つのアプリで提供する、スマートフォン向けのアプリ開発業務で、当社の観光地などにおける地域の「観光情報」と「防災情報」が一体（※特許出願中）となった、多言語対応のスマートフォンおよびタブレット向けの観光防災総合アプリ『EXTravel』を活用し実施するものです。

当社の『EXTravel』は、これまでになかった観光地などにおける地域の「観光情報」と「防災情報」が一体となった、多言語対応のスマートフォンおよびタブレット向けの観光防災総合アプリです。通常時は、同アプリのシステムを導入された自治体などの地域の観光スポットの検索・説明やお勧めルートの紹介・案内などを行う総合観光ガイドを提供し、地震などの災害発生時になると、観光ガイドから強制的に防災情報画面に切り替わり、ユーザーの現在地に合わせた予想震度・予想到達時間を表示するとともに、最寄りの避難所に誘導するための機能を搭載しています。

また、コンテンツはすべて日本語に加え英語、中国語、韓国語での表示が可能なほか、システムを導入される方のご要望に応じて、上記以外の言語での表示にも対応可能なため、海外からの観光客への詳細な情報提供が可能です。

今回の日光市からの受注は、『EXTravel』を活用したアプリ開発業務はもとより、アプリを動作させるアンドロイド、iOS の認証取得と登録および配信にかかる手続き、アプリ提供開始後のユーザーからの問い合わせ対応や、本アプリケーションの改良といった保守にかかる業務などの、運用・管理までも含むものです。

当社では今回受注した日光市の実績をもとに、今後は全国の観光地の自治体や観光協会をはじめ、地域住民の方々に向けた暮らし、行政、各種イベントなどの詳細な情報発信を目指す自治体に対しても、『EXTravel』の導入を積極的に提案してまいります。

## 【ご参考】『EXTravel(エクストラベル)』の主な特徴

- 1つのアプリで「観光情報」と「防災情報」の提供が可能です。(※特許出願中)
- 操作画面をはじめ、搭載する各機能などは、システム導入者の要望に応じて自由に設定可能です。
- 日本語はもちろんのこと、英語、中国語、韓国語に標準対応。その他の言語もシステム導入者の要望に応じて搭載可能です。
- 観光ナビ機能…
  - ・ルート案内、スポット検索、目的地までのルートのシミュレーション、クーポン発行などの機能で、街の魅力をアピールできます。
  - ・Facebook (フェイスブック)、Twitter (ツイッター) などの SNS との連動も可能です。
  - ・AR (拡張現実) による古地図との連動などのオプションも用意しています。
- 防災ナビ機能…
  - ・災害 (地震) 発生時に、観光ナビ画面から強制的に防災ナビ画面に切り替わり、最寄りの避難所へ誘導します。
  - ・災害時は利用が困難になる 3G、LTE、Wi-Fi などの通信回線に頼らず、オフラインでの利用が可能です。
- その他 (ウェアラブル対応) …
  - ・「スマートグラス」や「ナビチャリ (ナビゲーションサイクル)」といったハンズフリーで使用可能なウェアラブル端末にも連動可能で、最新技術を駆使した観光スタイルを提供することも可能です。

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075 (直) FAX：03 - 5778 - 1228

担当：高柳 圭伸